

『九州百名山』へ登ろう

鹿児島県 大籠柄岳(標高1,236m)・行程表

3月4日(日)

金立SA下P 5:30 == 市役所西向い 5:45 == 諸富支所 6:00 ==

みやまIC 6:30 == 国分IC 9:00 == 大籠柄岳登山口 10:40~11:00...大籠柄岳山頂 13:10

~13:40 == 大籠柄岳登山口 15:30~15:50...温泉 17:00~17:50 == 国分IC 18:25 ==

みやまIC 21:30 == 諸富支所 22:00 == バスセンター 22:15 == 金立SA下P 22:30

◎解散お疲れ様でした

※帰りが遅いので帰路・九州自動車道で夕食を摂る予定です。

行動時間約 3.5 時間 参加費 9,500 円 体力度 3.0

標高差 約 650m

リーダー:池田

集合場所・時間:金立SA下P 5:30、市役所西向い 5:45、諸富支所 6:00

入浴予定:海潟温泉(TEL:0994-32-0505)orたるみず湯ったり館(TEL:0994-34-2237)

緊急連絡先 池田携帯電話:080-1772-8359 ガイドクラブ電話:0952-37-0577

大籠柄岳について

大籠柄岳は御岳の北・直線で約3kmの所にあります。大隅半島の屋根と呼ばれている、高隈山地は鹿屋市と垂水市の境界付近にあり、南北25km・東西15kmの広さがあります。また、ブナの南限とされています。山地には千mを超える峰として、大籠柄岳、小籠柄岳、御岳、妻岳、横岳、高峠、鶯岳(びしゃごだけ)、白鹿岳があり、大籠柄岳が最高峰です。大野原林道の途中に大籠柄岳登山口があり、ここから登り始める。登山口からしばらくは緩やかな尾根道であり、右に折れた先の三合目付近から傾斜が増し始める。ロープがある急坂もあるが、登山口から1時間と少しで五合目の展望所で露岩があり、眺めが良く休憩に適している。

これからは展望のない急坂をかんばることになる。3~40分も頑張ると傾斜も緩やかになり稜線に出る。

なだらかな稜線沿いを行くとブナの樹も見ることが出来、やがて山頂に到着する。山頂からは高隈山地の山々が連なり、天気の良いければ桜島(上の写真)や開聞岳も遠望できる。下山は来たルートに戻る。

◎登山口まで遠いため、登山口への到着はお昼前になります。昼食時間は特に設けていませんので、バスの中で食事を摂るか、行動食を中心に準備をしてください。(時間は遅いものの一応、山頂で30分程の休憩時間があります。)



キャンセルにつきましては、3 日前から 50%かかります。
 当日のキャンセルは全額返却出来ませんのでご了承ください。
 料金に含まれるもの＝交通費・温泉代・保険料
 料金に含まれない物＝昼食・行動食・集合場所までの交通費
 自然歩道との乗り合わせはしない予定

装備表

装備品名	チェック	必要度	装備品名	チェック	必要度
レインウェア		◎	地図・コンパス		○
帽子(耳当て)		◎	タオル・バンダナ		○
手袋(防水)		◎	トイレトペーパー		◎
スパッツ		○	ゴミ袋 ビニール袋		◎
防寒具		◎	時計		◎
ストック・ステッキ		○	健康保険証又は写し		◎
ザックカバー		○	デジタルカメラ		△
緊急用品・医療品		○	非常食・行動食		○
水筒・サーモス		◎	弁当		◎
ヘッドランプ		◎	マグカップ		△
携帯電話		○	軽アイゼン		連絡します

